

宇部のコミュニティ・スクール

社会に開かれた教育課程

新学習指導要領におけるこれからの教育理念として、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、社会との連携・協働によりその実現を図っていく。」ことが示されています。

コミュニティ・スクールが学校と地域をつなぐという立場から、教育課程や教育活動について地域や社会とどうつながり、子どもたちをどう育てるかを明確にして、保護者や地域とともに教育活動を展開することが大切になると思います。

◎「コミュニティ・スクール」の取組紹介

船木小学校運営協議会

8月29日、教職員と学校運営協議会委員が参加して拡大学校運営協議会が行われました。

初めに「道德教育の導入」について研修がありました。その後、道德教育の「内容項目の指導の観点」を確認しながら、船木小学校で育てたい子どもについてのグループ協議を行いました。

グループ協議を通して、学校だけでなく、家庭教育や地域教育の大切さ、子どもたちに多様な大人がかかわり多様な体験をさせることの重要性が共有されました。船木小の子どもたちが、保護者や地域の方の温かなつながりに包まれながら心豊かにたくましく育っていくことを期待しました。



【運営協議会委員さんの、積極的な発言が協議を深めました。】

◎「地域協育ネット」の取組紹介

黒石中校区合同学校運営協議会

8月29日、厚南市民センターで、黒石中学校区（原小、黒石小、黒石中）の3校教職員と学校運営協議会委員が集まったの小中合同学校運営協議会が行われました。

3校の部会（学、体、心）ごとにテーマを設け、2学期以降の3校の取組がグループで協議されました。各部のテーマは、「学習規律の定着を図るために」「体力の向上を図るために」「あいさつ・言葉遣いについて」の家庭・地域・学校の連携についてでした。

3校の教職員と学校運営協議会の委員さんによる話し合いは活発で、あいさつや言葉遣い、外遊びや体力づくり、家庭学習や学習用具の準備など、2学期以降に取り組んでみたい提案がたくさん出されました。黒石中学校区で、目指す子どもの姿を共有し、学校と家庭と地域が役割を明確にしながら、子どもの学びや育ちを支援して欲しいと思いました。



【家庭・地域・学校の連携について、具体的取組が提案されました。】

コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 Tel 0836-37-2780

E-mail : ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp